

カブトムシの幼虫の土の入れ替え作業体験イベント



令和6年11月4日（祝・月）、サポーターの皆様とご家族合わせて30組94名の方々に、カブトムシの幼虫の土の入れ替え作業体験イベントに参加いただきました。

土の入れ替え作業は、幼虫たちが、冬を無事に過ごして成虫に育つために必要な快適な家を作るための大切な作業です。サポーターの皆様は、専門主事からカブトムシの一生についての話と作業手順の説明を聞いたあと、楽しみながら作業に取り組んでくださいました。

作業は、まず移植ごて（スコップ）で、腐葉土や新しい土を混ぜ合わせたものを入れて冬を越すための家を作ります。グループごとに協力してバケツで土をはこびました。



次に、古い土の中からカブトムシの幼虫を探り出し、新しい土の上にそっと移し替えます。土の中から沢山の幼虫が出てきて皆さん笑顔でした。あまり強く幼虫をさわるとつぶれてしまうため、「優しく探してください。」と、声がかかりました。



新しい土に移したあと、幼虫をゆっくり見てもらい、新しい土の中に凄く早いスピードで潜っていく様子を観察して作業体験を終わりました。

カブトムシの幼虫の土の入替作業体験を通じて、カブトムシを詳しく知ることで命の大切さを学び、観察することの楽しさを知っていただけたと思います。

今回お世話をしてもらったカブトムシの幼虫たちが立派な成虫になった姿を、来年の夏に青少年科学センターの展示場で見ていただけたと思います。楽しみにしててください。